

未来社会創造事業 探索加速型探索研究
事後評価結果

1. 領域

「世界一の安全・安心社会の実現」領域

2. 重点公募テーマ

食・運動・睡眠等日常行動の作用機序解明に基づくセルフマネジメント

3. 研究開発課題名

快適生活をマネジメントする脳フィットネス戦略

4. 研究開発代表者名(機関名・役職は評価時点)

征矢 英昭(筑波大学 体育系ヒューマン・ハイ・パフォーマンス先端研究センター センター長/教授)

5. 評価結果

評点: S (特に優れている)

総評:

本研究開発課題は、ストレスを乗り越え、快適な気分で前向きに生きるために必要な脳・精神機能である「脳フィットネス」の3要因(認知機能、ストレス対処力、持久力)を運動と食行動で増進することを目指すものである。

探索研究期間では、軽強度運動と特定の栄養素摂取の組み合わせ(脳フィットネスプログラム)により認知機能、ストレス対処力、持久力を向上することを達成し、さらにプログラムの効果を測る新規バイオマーカーの発見に成功したことを高く評価する。

特に、脳フィットネスプログラムの作用機序解明については、ヒトを対象とした実証実験を実施する等、当初の計画を上回る成果が認められる。

今後は、研究成果を基にした新規サービスの創出に向け、研究成果が有する競争力・優位性を確保することに留意しながら研究開発を進めることを期待する。

以上